

平成26年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月27日

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社  
 コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 利江  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理グループ (氏名) 金子 正輝  
 四半期報告書提出予定日 平成26年4月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6880-3851

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第2四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第2四半期	1,717	144.0	204	154.7	201	163.0	94	607.8
25年8月期第2四半期	703	—	80	—	76	—	13	—

(注)包括利益 26年8月期第2四半期 46百万円 (△42.4%) 25年8月期第2四半期 80百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第2四半期	19.60	18.94
25年8月期第2四半期	2.58	2.54

(注)当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年8月期第2四半期	2,932	1,953	66.6	397.36
25年8月期	2,962	1,986	67.0	414.29

(参考)自己資本 26年8月期第2四半期 1,953百万円 25年8月期 1,985百万円

(注)当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年8月期	—	0.00	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成26年8月期(予想)配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表します。

3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	72.5	430	54.4	417	51.8	198	104.8	40.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年8月期2Q	5,548,800 株	25年8月期	5,548,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年8月期2Q	633,400 株	25年8月期	755,800 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年8月期2Q	4,844,379 株	25年8月期2Q	5,197,700 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年9月1日から平成26年2月28日)につきまして、当社グループは、今期の基本方針である「出前館の持続的成長」と「新たな事業の柱の構築」の実現に向けて、様々な施策に取り組んでまいりました。

12月12日より、iPhone向け「出前館」アプリを全面リニューアルし、GPSを活用した店舗表示、オーダー後の予定お届け時間表示、Tポイントおよびクレジットカード利用対応の各種機能が使用可能となりました。昨年6月から行ってまいりましたスマートフォンに関する一連のサイトおよびアプリのリニューアルの結果、スマートフォンからの会員登録数およびオーダー数が増加し、当第2四半期連結会計期間末時点での全オーダー数に占めるスマートフォンからの注文比率は約32.1%となっており、比率が高まってきております。

12月26日には、シニア向けのコミュニティサイト「シニア・ナビ」の運営を中心に、シニア向けのマーケティング、コンサルティング等、幅広いサービス提供を行う株式会社ZENの全発行済み株式を取得し、子会社化いたしました。同社でこれまで培って来たマーケティングのノウハウと会員基盤を活用し、毎日毎食「選べる宅食サービス」、アクション確認による「リアル安否確認サービス」、簡単な作業をお手伝いする「孫の手サービス」など、シニア向け事業の新規参入に向けて、具体的に検討を進めております。

2月12日には、タメコ株式会社と資本・業務提携に向けた基本合意書を締結いたしました。同社が独自に開発した高度な人工知能システムを活用し、出前館の会員および購買履歴データを分析することで、個別ユーザーの嗜好や位置情報、そして生活パターンに応じたお得クーポン配信やリマインダー発信機能等による的確なマーケティングを行い、利便性の高い購買を促進することが可能となります。その結果、出前館の1会員あたりの利用回数と顧客単価の増加につながることに加え、加盟店に対する付加価値向上という点でも優良なツールになるものと考えております。

2月からの新たな試みとして、ソチオリンピックのテレビ中継観戦や受験勉強のため、深夜の時間帯でのドリンクや食事のデリバリー需要が高まることを想定し、26時(深夜2時)までの深夜デリバリーサービスを開始いたしました。2月3日のサービス開始時では、深夜サービスを展開する加盟店様は約200店舗でしたが、2月末日時点では、約1.5倍の310店舗まで増加いたしました。店舗数の拡大に伴い、ご注文いただけるメニューも増加しており、今後もオーダー数の拡大を見込んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,717,172千円(前年同四半期比144.0%増)、経常利益は201,819千円(前年同四半期比163.0%増)、四半期純利益は94,967千円(前年同四半期比607.8%増)となりました。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
基本運営費	135,704	19.3	135,888	7.9	183	0.1
オーダー手数料	435,894	61.9	489,724	28.5	53,830	12.3
広告収入	35,743	5.1	31,913	1.9	△3,829	△10.7
その他	96,381	13.7	115,683	6.7	19,301	20.0
小計	703,724	100.0	773,210	45.0	69,485	9.9
通信販売事業	—	—	943,961	55.0	943,961	—
合計	703,724	100.0	1,717,172	100.0	1,013,447	144.0

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第2四半期連結会計期間末における会員数は約589万人を突破いたしました。また、加盟店舗数は11,644店舗、オーダー数に関しましては約428万件となっております。その結果、当第2四半期連結累計期間の出前館事業セグメントにおける売上内訳は、基本運営費135,888千円、オーダー手数料489,724千円、広告収入31,913千円、その他115,683千円、セグメント売上高は773,210千円となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、機動的なコールセンターを運営し、高品質な焼酎を中心に、飲食店向けの通信販売を行っております。当第2四半期連結累計期間の売上高は、943,961千円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で26,517千円増加し、1,676,024千円となりました。増加の主な要因は、現金及び預金が22,743千円、受取手形及び売掛金が26,500千円減少した一方、仕掛品が74,943千円増加したこと等によるものであります。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で56,579千円減少し、1,256,214千円となりました。減少の主な要因は、繰延税金資産が21,835千円増加した一方、投資有価証券が62,645千円、のれんが26,656千円減少したこと等によるものであります。

以上により総資産残高は、前連結会計年度末比で30,061千円減少し、2,932,239千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で46,884千円増加し、626,245千円となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が8,407千円減少した一方、未払法人税等が47,121千円、賞与引当金が11,579千円増加したこと等によるものであります。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で44,014千円減少し、352,151千円となりました。減少の主な要因は、長期借入金が41,428千円減少したこと等によるものであります。

純資産残高は、前連結会計年度末比で32,932千円減少し、1,953,841千円となりました。減少の主な要因は、四半期純利益を94,967千円、自己株式の処分62,248千円計上した一方、剰余金の配当を38,344千円、その他有価証券評価差額金を48,429千円、自己株式の取得を101,332千円計上したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、1,235,015千円となり、前連結会計年度末と比較して12,669千円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、235,833千円(前年同四半期は105,385千円の増加)となりました。主な増減の内訳は、たな卸資産の増加79,705千円等の減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益201,387千円、減価償却費80,878千円及びのれん償却額55,796千円等の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、148,392千円(前年同四半期は537,911千円の増加)となりました。主な増減の内訳は、定期預金の払戻による収入10,073千円の増加要因に対し、有形固定資産の取得による支出12,720千円、無形固定資産の取得による支出68,968千円、投資有価証券の取得による支出48,390千円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出23,124千円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、129,957千円(前年同四半期は35,966千円の減少)となりました。主な増減の内訳は、自己株式の処分による収入62,248千円等の増加要因に対し、長期借入金の返済による支出53,464千円、自己株式の取得による支出101,332千円及び配当金の支払額37,799千円の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月15日の決算発表時に公表しました連結業績予想を修正致しました。詳細につきましては平成26年3月24日の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、グループ全社において第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,257,759	1,235,015
受取手形及び売掛金	182,456	155,955
商品及び製品	58,052	67,515
仕掛品	—	74,943
未収入金	120,345	118,671
繰延税金資産	12,625	15,879
その他	27,001	17,378
貸倒引当金	△8,734	△9,336
流動資産合計	1,649,506	1,676,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,859	43,502
減価償却累計額	△15,679	△15,118
建物及び構築物(純額)	28,179	28,384
土地	64	64
その他	132,985	134,707
減価償却累計額	△118,904	△115,335
その他(純額)	14,081	19,372
有形固定資産合計	42,324	47,821
無形固定資産		
ソフトウェア	411,941	403,734
ソフトウェア仮勘定	29,362	31,331
のれん	506,630	479,973
その他	138	138
無形固定資産合計	948,072	915,178
投資その他の資産		
投資有価証券	255,046	192,401
繰延税金資産	6,317	28,153
差入保証金	28,748	34,101
その他	34,246	40,864
貸倒引当金	△1,963	△2,306
投資その他の資産合計	322,396	293,214
固定資産合計	1,312,794	1,256,214
資産合計	2,962,301	2,932,239

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	175,768	167,360
1年内返済予定の長期借入金	100,836	102,965
未払金	187,584	190,043
未払法人税等	62,196	109,318
賞与引当金	11,840	23,419
その他	41,135	33,138
流動負債合計	579,361	626,245
固定負債		
長期借入金	375,621	334,193
その他	20,544	17,958
固定負債合計	396,165	352,151
負債合計	975,527	978,397
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,113,300	1,113,300
資本剰余金	664,400	664,400
利益剰余金	754,724	731,845
自己株式	△581,016	△542,129
株主資本合計	1,951,409	1,967,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,893	△15,535
為替換算調整勘定	1,381	1,312
その他の包括利益累計額合計	34,274	△14,222
新株予約権	1,089	—
少数株主持分	—	647
純資産合計	1,986,773	1,953,841
負債純資産合計	2,962,301	2,932,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
売上高	703,724	1,717,172
売上原価	219,943	656,643
売上総利益	483,781	1,060,528
販売費及び一般管理費	403,473	855,958
営業利益	80,308	204,570
営業外収益		
受取利息	622	143
受取配当金	—	400
為替差益	—	536
その他	681	2,037
営業外収益合計	1,303	3,117
営業外費用		
支払利息	—	2,871
支払手数料	—	627
持分法による投資損失	—	1,694
貸倒引当金繰入額	3,075	—
為替差損	1,793	—
その他	—	673
営業外費用合計	4,868	5,867
経常利益	76,743	201,819
特別利益		
投資有価証券売却益	23,143	—
持分変動利益	—	344
新株予約権戻入益	8,289	—
事業譲渡益	—	1,008
特別利益合計	31,432	1,353
特別損失		
固定資産除却損	9,235	775
減損損失	61,512	1,009
関係会社株式評価損	3,913	—
特別損失合計	74,660	1,785
税金等調整前四半期純利益	33,514	201,387
法人税、住民税及び事業税	17,885	—
法人税等調整額	2,211	—
法人税等	—	106,420
法人税等合計	20,097	106,420
少数株主損益調整前四半期純利益	13,417	94,967
四半期純利益	13,417	94,967

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,417	94,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,437	△48,429
為替換算調整勘定	1,949	△33
その他の包括利益合計	67,387	△48,462
四半期包括利益	80,805	46,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,805	46,469
少数株主に係る四半期包括利益	—	35

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	33,514	201,387
減価償却費	79,497	80,878
のれん償却額	—	55,796
減損損失	61,512	1,009
固定資産除却損	9,235	775
関係会社株式評価損	3,913	—
新株予約権戻入益	△8,289	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△23,143	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△154	944
賞与引当金の増減額(△は減少)	544	11,579
受取利息及び受取配当金	△622	△543
為替差損益(△は益)	3,988	837
支払利息	—	2,871
持分法による投資損益(△は益)	—	1,694
売上債権の増減額(△は増加)	2,113	27,148
たな卸資産の増減額(△は増加)	—	△79,705
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,540	△8,407
その他	△22,089	1,775
小計	134,479	298,043
利息及び配当金の受取額	6,775	543
利息の支払額	—	△2,867
法人税等の支払額	△35,869	△59,886
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,385	235,833
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	10,073
有形固定資産の取得による支出	△4,293	△12,720
無形固定資産の取得による支出	△46,800	△68,968
投資有価証券の取得による支出	—	△48,390
投資有価証券の売却による収入	588,714	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△23,124
その他	291	△5,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	537,911	△148,392
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△53,464
自己株式の取得による支出	—	△101,332
自己株式の処分による収入	—	62,248
配当金の支払額	△35,966	△37,799
その他	—	390
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,966	△129,957
現金及び現金同等物に係る換算差額	211	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	607,541	△42,516
現金及び現金同等物の期首残高	651,144	1,247,685
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	29,847
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,258,686	1,235,015

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I. 前第2四半期連結累計期間(自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	703,724	—	703,724	—	703,724
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	703,724	—	703,724	—	703,724
セグメント利益	204,391	—	204,391	△124,083	80,308

(注) 1. セグメント利益の調整額△124,083千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## II. 当第2四半期連結累計期間(自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	773,210	943,961	1,717,172	—	1,717,172
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13,233	13,233	△13,233	—
計	773,210	957,195	1,730,406	△13,233	1,717,172
セグメント利益	312,815	47,616	360,432	△155,862	204,570

(注) 1. セグメント利益の調整額△155,862千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結累計期間は単一セグメントとして報告していましたが、前第3四半期連結会計期間に株式会社薩摩恵比寿堂を連結子会社化したことに伴い、報告セグメントの区分により記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。